

一関市博物館開館25周年記念企画展

皇室と日本美

～宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品と岩手～

会期／前期：10月1日(土)－10月30日(日)
後期：11月2日(水)－11月27日(日)

毎週月曜日休館(但し、10月10日(月・祝)は開館し翌11日(火)が休館)
会期中「一関のあゆみ」「舞草刀と刀剣」の展示は、ご覧になれません。

入館無料日

- 10月1日(土) 前期初日
- 10月10日(月・祝) 開館記念日
- 10月29日(土)、30日(日) 東北文化の日
- 11月2日(水) 後期初日
- 11月3日(木・祝) 文化の日

夜間開館日

- 11月3日(木・祝)
- (19:00まで開館。正面玄関付近をライトアップ)

企画展に伴う休館日

- 9月23日(金)～9月30日(金)
- 11月1日(火)
- 11月29日(火)～12月3日(土)

一関市博物館の開館25周年を記念して、三の丸尚蔵館の所蔵作品を紹介する展覧会を開催します。

三の丸尚蔵館は皇居東御苑に所在し、皇室から国に寄贈された絵画・書・工芸品などの美術品類の保存管理や調査研究を行っています。

この展覧会では、三の丸尚蔵館の収蔵品を主として、皇室と岩手県とのゆかりを紹介できる作品や、皇室の慶事に際して引き出物として制作された小箱「ボンボニエール」、わが国を代表する日本画の彩り豊かな作品等をご覧いただきます。南部鉄器や、岩手県出身の洋画家・上野広一(雫石出身)、一関出身の日本画家・佐藤紫煙とその師・瀧和亭の作品など、皇室由来で地域ゆかりの美術作品を当地で鑑賞できる、またとない機会になるでしょう。



①



②

③

④

⑤

記念講演会

「三の丸尚蔵館の歴史と活動」(仮題)
10月10日(月・祝) 13:20～15:00
清水 緑氏(宮内庁三の丸尚蔵館 主任研究官)
定員／50名(要申込)
参加料／無料

- ①瀧和亭《孔雀鸚鵡図》(右隻) 明治29年(1896) 前期展示
- ②結城素明《鳳凰之図》大正14年(1925) 後期展示
- ③短刀《無銘 伝正宗 名物宗瑞正宗》写真⑤表⑥裏 鎌倉時代 通期展示
- ④香川勝廣ほか《花唐草透彫水晶入短刀拵》明治37年(1904) 通期展示 (③の拵)
- ⑤《薩摩焼色絵金彩花鳥図花瓶》明治時代初期 通期展示
- ⑥ボンボニエール各種 昭和時代 通期展示

①～⑥三の丸尚蔵館所蔵



⑥

テーマ展

テーマ展
1

江戸時代の女性たち—武家・農民・商人—

会期 4月29日(金祝) — 6月26日(日)

★4月29日(金祝)、5月14日(土)、15日(日)は無料でご覧いただけます。

伊達政宗の正室愛姫、一関藩主の娘にして藩主の妻・母・祖母となった宣寿院、一関藩士の妻、産婆や庶民など、江戸時代に生きた一関地方に関わる女性の姿を、史料から紹介します。



宣寿院六十賀図

【関連行事】

■講演会

「一関藩田村家の奥向と奥女中」

講師/菊池慶子氏(東北学院大学教授)

日時/6月5日(日) 13:30~15:00

定員/一般50名(要申込) 参加料/無料

■展示解説会

日時/5月8日(日) 15:10~、5月21日(土) 13:30~

5月22日(日) 13:30~、6月5日(日) 15:10~

6月19日(日) 13:30~

各40分程度、ただし状況により人数制限や短縮の可能性があります。入館料が必要です。申込不要。

テーマ展
2

地誌を編む—江戸・明治時代の磐井郡—

会期 7月16日(土) — 9月4日(日)

★7月16日(土)は無料でご覧いただけます。

仙台藩が編纂した『安永風土記』を中心に、江戸から明治時代にかけて作成された地誌や絵図を通して、人々が地域の歴史や地理をどのようにとらえていたかを紹介します。



風土記御用書出

【関連行事】

■展示解説会

日時/7月23日(土) 10:30~、7月24日(日) 10:30~

8月6日(土) 13:30~、8月7日(日) 15:10~

8月20日(土) 13:30~、8月21日(日) 13:30~

9月3日(日) 15:10~、9月4日(日) 13:30~

各40分程度、ただし状況により人数制限や短縮の可能性があります。入館料が必要です。申込不要。

テーマ展
3

天体と時間の文化史

会期 2023年1月14日(土) — 3月21日(火祝)

★1月14日(土)は無料でご覧いただけます。

一関藩主・田村建顕と江戸時代を代表する天文暦学者・渋川春海との交流、磐井郡出身の天文学者・佐竹義根、和算と天文暦学の関係など、一関藩や仙台藩に関する資料を中心に、江戸時代の天体や時間に関する文化について紹介します。



天文図
(『塵積成山』第八冊所収)

【関連行事】

■講演会

「一関の天文」(仮題)

講師/黒須 潔氏(仙台郷土研究会理事)

日時/2月19日(日) 13:30~15:00

定員/50名(要申込) 参加料/無料

■展示解説会

日時/1月21日(土) 13:30~、1月22日(日) 13:30~

2月5日(日) 15:10~、2月19日(日) 15:10~

3月4日(土) 13:30~、3月18日(土) 13:30~

3月19日(日) 13:30~

各40分程度、ただし状況により人数制限や短縮の可能性があります。入館料が必要です。申込不要。

講座

館長講座

①「一関城下商人のみた天明の飢饉—「塩屋家文書」より—

日時/5月8日(日) 13:30~15:00

②「地誌を読む—「安永風土記」にみる磐井・一関—

日時/8月7日(日) 13:30~15:00

③「橋を架ける—蔵美溪天工橋—

日時/10月23日(日) 13:30~15:00

④「暮らしのなかの暦・占い—南部絵暦と東方朔—

日時/2月5日(日) 13:30~15:00

講師/菊池勇夫(当館館長) 定員/各回50名(要申込、4月1日から受付開始) 参加料/無料



骨寺村荘園遺跡村落調査研究事業 講座「骨寺大学」



一関市博物館では、大学等の研究者と連携して骨寺村荘園遺跡の多角的な調査研究を実施しています。これらの成果を広く公開するため、連続講座を実施します。全6回。

定員/36名(要申込、4月1日から受付開始) 参加料/300円(初回のみ)

①は、別に見学料800円(実費)

① 5月14日(土) 13:00~17:00

「中尊寺経蔵と骨寺村を歩く」 講師/当館職員

② 6月11日(土) 13:30~15:00

「本寺地区の地域づくりを知る」 講師/広田純一氏(岩手大学名誉教授)

③ 7月23日(土) 13:30~15:00

「磐井川中流域の中世城館」 講師/菅田慶信氏(岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)

④ 9月3日(土) 13:30~15:00

「近世の中尊寺と地域社会—2つの石碑から—」 講師/岡陽一郎氏(東北芸術工科大学准教授)

⑤ 10月15日(土) 13:30~15:00

「いわゆる在家の進化について」 講師/入間田宣夫氏(東北大学名誉教授)

⑥ 11月26日(土) 13:30~15:00

「近世本寺のムラの姿」 講師/菊池勇夫(当館館長)

和算講座 入門編

和算の基本や歴史についてわかりやすく解説します。

①「一関の和算」

日時/7月16日(土) 13:30~15:00

講師/当館学芸員

②「和算書と算額の読み方—和算用語を中心に—」

日時/8月27日(土) 13:30~15:00

講師/千葉秀昭氏(岩手県和算研究会)

③「和算から洋算への接続—日本そして一関—」

日時/9月10日(土) 13:30~15:00

講師/菅原 通氏(岩手県和算研究会会長)

定員/各回18名(要申込)

参加料/無料



勤者御伽草紙

和算講座 研究編

一関出身の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』を通して和算を学ぶ連続講座です。

①5/21(土) ②6/18(土) ③7/16(土)

④8/27(土) ⑤9/10(土) ⑥10/22(土)

⑦11/19(土) ⑧12/10(土)

10:30~12:00

講師/岩手県和算研究会会員

定員/18名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)



算法新書

古文書初心者講座

はじめて古文書を学ぶ人を対象に江戸時代の古文書を教材としてくずし字や古文書の基礎知識を学ぶ連続講座です。

①6/4(土) ②6/18(土) ③7/2(土)

13:30~14:30

講師/当館学芸員

定員/18名(要申込・初心者に限ります)

参加料/300円(初回のみ)



三くだり半(離縁状)

古文書講座 一浅野内匠頭身柄預り一件

当館所蔵の一関藩主田村家の古文書から、元禄14年に江戸城松の廊下刃傷事件を起こした浅野内匠頭の身柄を預かり切腹させるまでの一関藩の動きを読み取ります。連続講座です。

①11/5②11/20③12/4④

午前の部10:00~11:30

午後の部13:30~15:00

いずれかにお申込みください。

講師/当館学芸員

定員/各回18名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)



御家御年代記

武士のはじまりの物語〜『陸奥話記』をよみなおす〜

平安時代後期、源頼義が、陸奥国北部に勢力を誇った安倍氏を討った前九年合戦。この合戦を記した『陸奥話記』を読み解き、武士が誕生した時代を紹介する連続講座です。

①5/22②6/19③7/31④8/28④

午前の部10:00~11:30

午後の部13:30~15:00

いずれかにお申込みください。

講師/当館学芸員

定員/各回18名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)



陸奥話記

吾妻鏡から奥州合戦を読む

吾妻鏡から奥州合戦の様相を探り磐井の歴史の一端にせまる連続講座です。

①9/18②10/16③11/13④

④12/11④

午前の部10:00~11:30

午後の部13:30~15:00

いずれかにお申込みください。

講師/当館学芸員

定員/各回18名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)



吾妻鏡

体験学習

はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

①江戸時代のうつつ絵をつくろう

日時/5月5日(木祝)

①10:00~10:30 ②11:00~11:30

③13:30~14:00 ④14:30~15:00

ご希望の時間にお申込みください。

持ち物/なし。汚れてもよい服装でお越しください。

定員/各回10名程度(要申込、4月1日から受付開始)

参加料/50円(材料費)



②オリジナルエコバッグをつくろう

日時/7月29日(金)、30日(土)

①10:00~10:30 ②11:00~11:30

③13:30~14:00 ④14:30~15:00

ご希望の日時にお申込みください。

持ち物/なし。汚れてもよい服装でお越しください。

定員/各回10名程度(要申込)

参加料/100円(材料費)



③牛乳パックで望遠鏡をつくろう

日時/1月7日(土)

午前の部10:00~12:00

午後の部13:30~15:30

いずれかにお申込みください。

持ち物/1ℓの牛乳パック2個

定員/各回10名程度(要申込)

参加料/500円(材料費)



あなたも刀鍛冶修業



フィゴや金敷、金槌など刀鍛冶の道具を使って、五寸釘からペーパーナイフを作ります。(火花が散りますので、作業がしやすい服装でおいでください)

日時/11月6日(土) 13:00~16:00

講師/早坂政義氏(刀匠)

定員/小学5年生以上12名(要申込)

参加料/200円

博物館でアートを楽しむ 版画を楽しもう

博物館に親しんでいただくために、美術体験を楽しんでもらおうという催しです。版画で年賀状を作ります。

日時/11月12日(土)

午前の部 9:00~12:00

午後の部 13:00~16:00

いずれかにお申込みください。

講師/いわい美術振興協会会員、当館職員

定員/小学4年生以上、各回15名

参加料/300円



和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級から上級問題まで、解答を募集します。



日時/12月1日(土)に問題と応募要領を発表、郵送で解答を受け付けます。

締め切り/1月20日(金)消印有効

定員/どなたでも。応募者には3月末日までに解答集をお送りします。

表彰式/3月5日(土) 13:30~15:00

ツアー

美術館ツアー

当館企画展「皇室と日本美〜宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品と岩手〜」を鑑賞後、事前学習をしてから、企画展「コレクター 福富太郎の眼」を開催中の岩手県立美術館へ向かいます。

児童・生徒の参加も歓迎です。小学生以下は保護者の付き添いをお願いします。



北野恒富(道行)1913年頃、福富太郎コレクション資料室

日時/10月8日(土) 9:00~17:30

レクチャー/当館学芸員

定員/30名(要申込、8月2日(土)から電話にて受付開始)

集合・解散/一関市博物館

参加料/未定(参加者に後日連絡)

*博物館〜岩手県立美術館往復の交通費は主催者負担(市の研修バスを使用)

このマークは小学生参加可能な行事です。

※講演会や体験学習などの申込みは、特に記載のない場合は、5月1日(土)から随時電話にて受け付けます。(TEL 0191-29-3180)

※その他、行事に関する詳細は博物館へお問い合わせください。

常設展示

通史展示

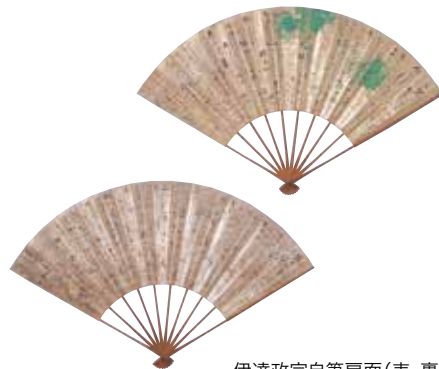
一関のあゆみ

過去から未来への展望

原始・古代から現代まで、地域の歴史の流れと特色を紹介します。中世荘園骨寺村に関する資料もブースを設けて展示しています。



中世荘園骨寺村ブース



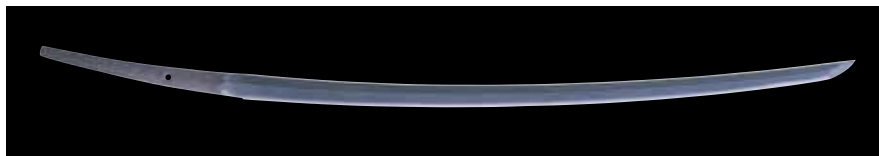
伊達政宗自筆扇面(表・裏)

テーマ展示

1 舞草刀と刀剣

日本刀の源流・舞草刀

日本刀の源流・舞草刀の究明をめざす展示です。日本刀の系譜・実用性・美的価値などを全国的視野に立って系統的に紹介します。



【刀剣】太刀 銘 舞草

2 玄沢と蘭学

蘭学者大槻玄沢の業績

一関藩医建部清庵を師とし、江戸で蘭学の第一人者となった大槻玄沢の生涯と、わが国の近代科学の形成に果たした役割を紹介します。



【蘭学】蘭学階梯初版本



【和算】一関八幡神社算額(復元)

3 文彦と言海

本格的国語辞書の著者

わが国最初の本格的国語辞書『言海』の著者大槻文彦の人物と業績について、映像を用いながら紹介します。



【言海】言海初版本



ながめまもりよし
長沼守敬

明治時代に活躍した一関出身の洋彫刻家、長沼守敬の作品を紹介しています。

4 一関と和算

和算隆盛の地一関

一関地方が全国的にも和算隆盛の地であったことを、千葉胤秀とその門弟の活躍を通して紹介します。ゲームで和算を体験することもできます。

入館料

区分	料金	団体 (20人以上)
小学生・中学生	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき160円
一般	300円	1人につき240円

※65歳以上の一関市民の方と障がい者・介護者の方は、入館料が免除されます。

共通入場券

有効期間	料金	対象施設
1年間	1,000円	一関市博物館 芦東山記念館 石と賢治のミュージアム 大籠キリシタン殉教公園
10日間	500円	

無料入館日

企画展(前期・後期)、展覧会の初日、国際博物館の日の5/14㊤、15㊤、開館記念日の10/10㊤(祝)、東北文化の日の10/29㊤、30㊤、文化の日の11/3㊤(祝)は、**無料**で入館いただけます。

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、企画展のための休館日9/23㊤~9/30㊤、11/1㊤、11/29㊤~12/3㊤、資料整理のための休館日12/17㊤~12/28㊤、年末年始12/29㊤~1/3㊤

開館時間 9:00~17:00(ただし、入館は16:30まで)

交通案内

■自動車

川口JCT⇄一関IC(約4時間20分 420km)
仙台宮城IC⇄一関IC(約1時間 88km)
盛岡IC⇄一関IC(約1時間 92km)
一関ICより約7分(5km)

■JR東北新幹線

東京⇄一関(約1時間58分)
盛岡⇄一関(約23分)
仙台⇄一関(約21分)
一ノ関駅より車で約17分(9km)

※一ノ関駅から路線バスで約20分(厳美溪バス停下車徒歩7分)



この「年間行事案内」に対するお問い合わせ、参加申込みは、一関市博物館 TEL 0191-29-3180 まで

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>

一関市博物館

検索

